

学ぶ・知的活動を支える利用環境

A-1 都立図書館の情報資源を快適に利用するための環境整備

(長時間いても快適にすごせる、場所を選択できる)

A-2 “学ぶ”を支え、“探す”を磨くことができる機会の提供

A-3 知的刺激を受けられ、人と人が出会える場の提供

A 利用環境整備の具体的取組 (施設・設備・プログラム等)

A-1 都立図書館の情報資源を快適に利用するための環境整備

趣味・仕事・生活に関わる調査研究*、学習者のレポート・論文作成作業*等を支える。

A1-1 多様で充実した図書館利用環境の整備

快適な長時間滞在、気分転換、場所の選択、などを実現

⇒ 多様な机 (形状・場所)、スペースのゾーニング* (ガラスで仕切る等)、
照明の工夫、リラックスできる飲食スペース、
複数人で共同作業可能な設備・スペース*

A1-2 デジタル情報機器利用環境の整備

周囲を気にせずPCを利用できる場所の提供*

⇒ 電源等の設置*、音のコントロール

A1-3 ブラウジング可能な情報資源の整備

(案1) アクセスできる資料の最大化(例、中央 35万冊開架→全て202万冊開架)

(案2) 書架を削減し閲覧環境を整備

A-2 “学ぶ”を支え、“探す”を磨くことができる機会の提供

- ・ 児童生徒の図書館を活用した学習を支援*、
レファレンスの便利さや正確な情報源の重要性を体験できるプログラムの提供
- ・ 高齢者をはじめとした意欲ある学習者への支援 (オープンラーニング*等)

A-3 知的刺激を受けられ、人と人が出会える場の提供

出版文化を支えるイベント*、協働しての知識創造 (WikipediaTown等) *の実施

⇒ 展示、ギャラリースペースの充実、ラーニング・コモンズ* (イベントスペース*)、
可動式の机椅子、プロジェクター等

B 上記に関連するその他の取組 (情報環境・連携・広報等)

B-1 レファレンスサービス*、レフェラルサービス*の充実

新たな働き方に対応した情報サービス (ヴァーチャルレファレンス等の充実)、
SNS活用*によるさらなる広報、市区町村立図書館との連携強化

B-2 デジタル・アーカイブの充実

さらなる情報資源のデジタル化、オープンデータの整備、提供方法の研究・開発

B-3 遠隔利用者サービス*の充実

各種DB*のVPN*等による提供、ディスカバリーサービスの提供 (書誌情報に加え、
目次・雑誌記事・電子書籍等の一括検索)、コンソーシアム構築による電子書籍提供

B-4 外部機関との連携*

各種外部機関と連携した多彩なイベントの開催*

「*」…第2回協議会定例会での提案 (当日の会議資料) を引き継ぐ項目
下線部…第2回協議会定例会および第2回作業部会の協議で新たに提案された項目